

1: 出席者

加藤^a・大西^b・岡部・千葉・能登・片山・平林・深堀・大塚^c・内藤^c・新井^c・合川^c・セルゲイ^c・吉田^c・須田^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- D1800, D1803 のレフェリーが終了した。(片山)
- 核データの国際会議への出席を見送った。(加藤)
- 7月14日に特別会計のレポートを作成するためのミーティングが行なわれる。(加藤)
- 7月6日に深堀氏が核データに関する講義を行なう。(加藤)
- 単年度2000万円程度の予算に応募した結果、北大を通過した。(加藤)
- 勝間氏が7月1日から東工大へ移った。(加藤)
- E027, E028 を IAEA に送付した。(大塚)
- 新規サーバーの設定を行なった。(開発用、公開用)(合川)
- 年次報告書の原稿を修正中である。(内藤)
- RGM をウェブ上で計算、作図するシステムを作成した。(新井)
- NIAS(Nuclear Information Access System)の EXFOR 検索部分を作成した。(須田)
- DARPE を用いて NRDF のマスターファイルをチェックした。さらに、NRDF の現在のチェックシステムを利用してファイルのチェックを行なう予定である。(吉田・大塚・セルゲイ)

3: 議論

- 所属機関コードで空白は許されるのか (“UK “, “FR “など)
 - 今回は機関コードのみ空白を許可する。(例えば“2FR FR”とする)
 - H 型には空白を使わない。
- D1816 のレフェリー
 - DATA セクションに関する共通情報の括り出しを許すか。
 - ◇ ¥¥DATA,1[62 を NRDF の文法として新たに定義してはどうか今後検討する。
- NRDF チェックプログラムのデモンストレーション
 - 夏休み期間中に院生にチェックをしてもらう。

4: 次回

2004 年 8 月 30 日 18:30~